

貧困と飢餓をなくす

フードバンク仙台

第4期 2023年度 活動報告書

(2023年4月1日～2024年3月31日)



フードバンク仙台は、社会から貧困や飢餓を無くすことを目的に活動している団体です。年齢や性別、国籍や障害の有無等の属性にかかわらず、普遍的に、困窮世帯に行う食料支援、個人の困窮状態の解決の支援のための生活相談支援、貧困問題の解決のための調査研究・政策提言、飢餓をなくすために自ら畑を耕し食料生産をおこなう、などの事業を行っています。

目次

1. フードバンク仙台の支援体制（食料支援と生活相談支援） P3
2. 2023年度の支援活動の全体像 P4
3. 食料支援数（延べと実数・世帯数と人数） P9
4. 食料品の寄付件数と重量 P9
5. 食料購入費 P9
6. 食料の配送にかかわる費用 P9
7. 食料支援利用者から寄せられた「ありがとうメッセージ」P9
8. 生活相談会と食料配布会（フードパントリー） P11
9. 講演会・イベント P12
10. ボランティア募集イベント P12
11. 申入れ・提言活動 P13
12. 依頼講演 P13
13. 内部研修会 P13
14. メディア掲載 P13
15. 活動費を寄付くださった個人の皆さま P14
16. 活動費を寄付くださった企業・団体さま P14
17. 助成金（民間） P15
18. 補助金（宮城県・仙台市） P15
19. 食料品を寄付くださった企業・団体さま P15
20. フードボックス設置に協力いただいている企業・団体さま P18
 - （1）フードバンク仙台 独自のフードボックス設置にご協力いただいている皆さま
 - （2）仙台市環境局と協働事業のフードボックス設置にご協力いただいている皆さま
21. フードボックスに集まった食品の運搬にご協力いただいている企業・団体さま P18
22. 食品保管倉庫を無償提供くださっている企業さま P18
23. 食品用コンテナ・梱包用ビニール袋を無償で提供くださっている企業さま P18
24. ご協力をお願い P19
 - 寄付金の振込み先
 - 活動写真

1. フードバンク仙台の支援体制（食料支援と生活相談支援）

社会では深刻な貧困が広がり、飢餓状態に陥る人が数多く存在します。飢餓をなくしていくため、フードバンク仙台は生活に困窮している世帯に食料支援を行ってきた。当団体では既存の支援機関を通さなくとも、個人世帯から直接、支援依頼を受け付けている。

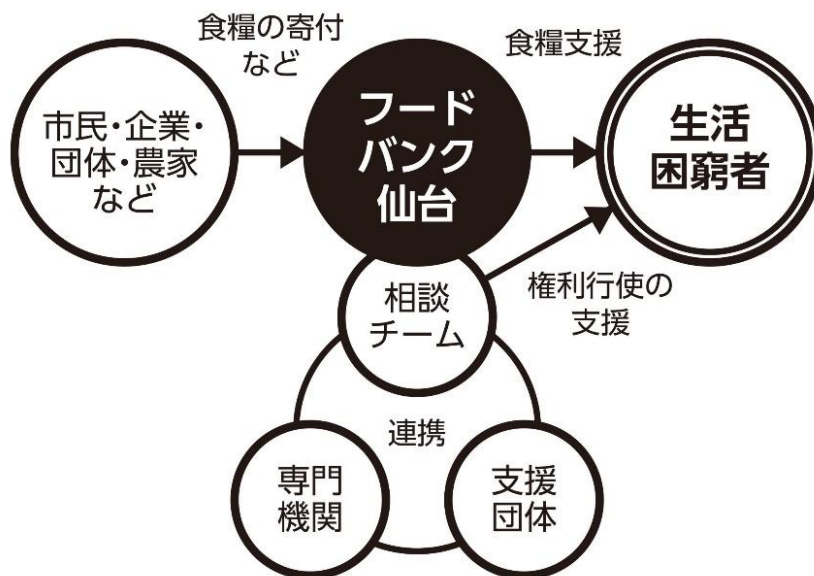
また、困窮者の生活状況は、単発の食料支援だけでは解消できない。そのため、当団体では発足当時から、困窮の背景にある課題解決の為に生活相談支援に力を入れてきた。これが、当団体の支援の特徴である。

食料支援の依頼を受けた際に詳細な生活状況を確認し、現状を把握した上で迅速に食料支援を行う。そして、電話や対面・自宅訪問による生活相談支援をおこない、生活保護をはじめとする社会保障制度の利用支援、家探し、債務整理、障がい者支援等の福祉制度への繋ぎ、などを行っている。また、支援を行う上では連携する他の支援団体（例えば、DV被害者の支援団体や障がい者福祉団体）と連携した支援も展開している。緊急性や命の危険が高い際には、ご自宅へ駆け付けて緊急的な支援をすることも少なくない。

当団体へ支援依頼を寄せた多くの方は、生活困窮についてどこにも相談していないと回答しており、社会保障制度へのアクセスができていない事例が多い。当団体の食料支援を通して、初めて制度や相談機関を知るきっかけとなり、様々な相談機関や制度に繋がっている。そうした意味で、個人世帯から直接支援依頼を受け付けることは重要であり、その結果、当団体は年間数千世帯の依頼者を社会保障制度につなげ生活困窮を解消するなどの社会的に重要な役割を担ってきた。

このように、貧困や飢餓状況を解決する為に、食料支援だけでは解決できない困窮課題を必要な支援に繋ぐ相談支援の体制を一体化させた総合的な体制整備、困窮者支援を行ってきた。当団体の食料支援と生活相談によって根本的に困窮解消した世帯数は数知れない。例えば、当団体がこれまで生活保護申請に同行したケースは100%無事に生活保護受給ができており、安定した生活につながったケースは多い。

以上のように、フードバンク仙台の最大の特徴は、特に困窮者支援活動を主要な軸としていることにあり、こうした生活相談支援まで行うフードバンク団体は全国的にも非常に珍しい。



2 2023年度の支援活動の全体像

(1) 支援件数

2023年度の食料支援では、延べ数 2861 世帯（実数 1409 世帯）、延べ数 4515 人（実人数 2252 人）にそれぞれ 1 週間分（1 回につき 1 人約 8kg）の食料を提供した。直接支援だけでも 36 トン以上の食料支援をしてきた計算になる。他にも、連携団体に食料を提供し、支援につながった件数は延べ 92 回、重量でいえば約 5 トンほどを提供した。

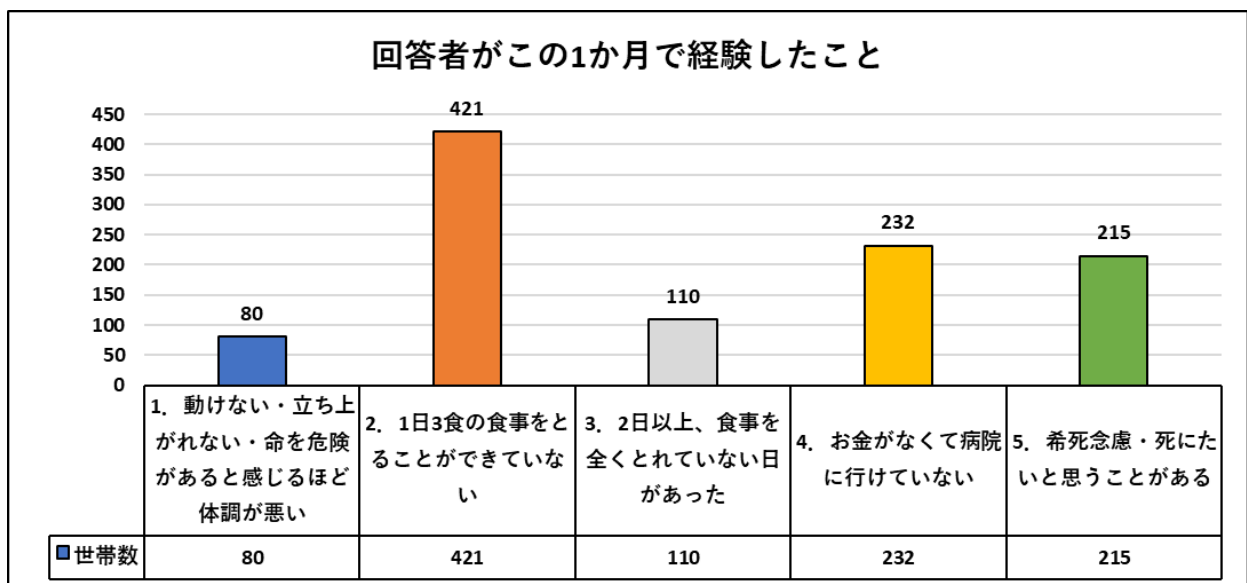
2023 年は物価高騰、エネルギー料金の高騰の影響が大きくなり、2023 年 8 月の消費者物価指数は、天候による変動が大きい生鮮食品を除いた指数が、2022 年の同じ月より 3.1% 上昇した。食料品を中心に物価が大きく上がっており、これは気候変動による猛暑や水不足の影響で野菜が高騰したことも関係している。そのような結果、日々、生活はどんどん苦しくなっていた。2023 年度、そして 2024 年度に入った今も、生活が改善する兆しは見えない世帯はどんどん増えている。まさに命と暮らしがどう守られるのかが課題となっており、食料支援に頼らざるを得ない人たちの増加はまさに「飢餓」が日本で拡大しているといえる。国連から食料支援を受けるような海外の「途上国」では、食料へのアクセスが制限されており、「食料への権利」が侵害されているといわれている。そのような環境は、もはや海外の話ではなく、日本でも起きていることなのである。食料への権利が侵害されているということはそのまま、生存権が危ぶまれている社会であるといえる。私たちは食料への権利を守り、生存権を守るため、この課題に日々取り組んできた。

(2) 利用者の置かれている状況

A 「食料がエネルギーか」選ぶ状況ですらなく、「食料もエネルギーも」ない

相談の現場からは、貧困の拡大を感じる現象が現れている。今年度、フードバンク仙台に「はじめて」相談を寄せた相談者は、1001 件（母数は実数=1409 世帯）。支援全体の 71% もの人が今年度新たに支援依頼を寄せている。

そして、全体的に、生活はとても苦しいことも統計的に見えてくる。支援依頼を寄せた相談者が支援依頼をした日より 1 か月前くらいから経験していたことを聞いたところ、「1 日 3 食の食事をとることができない」と回答した世帯は 421 世帯もあり、外国籍の利用者を除いた数を母数（882 世帯、無回答を含む）とすると、48% もの世帯が 3 食の食事ができていない。



↑の母数は 1409 世帯

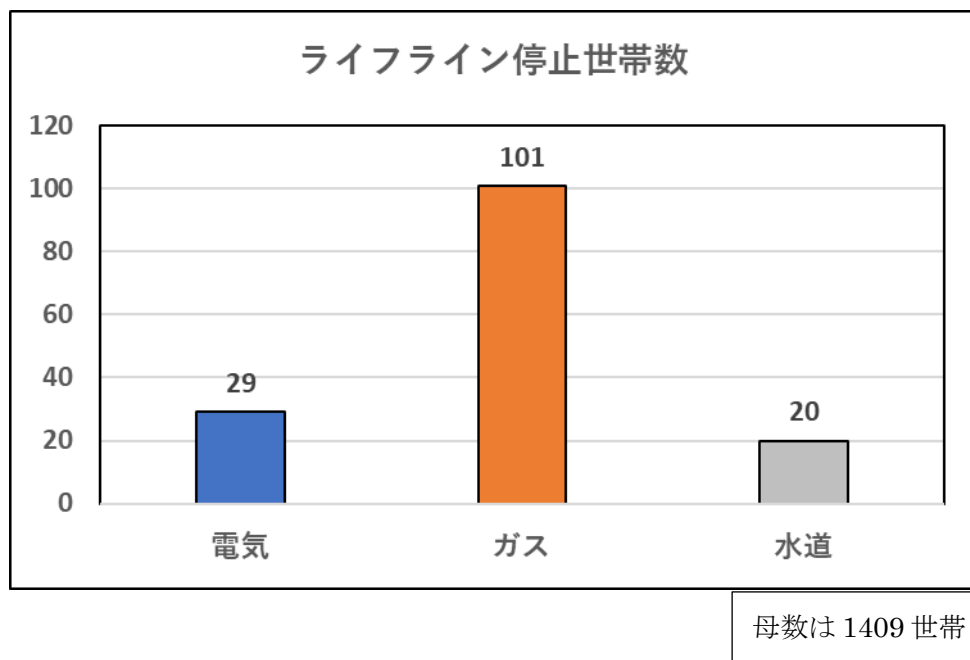
また、エネルギー料金の高騰の中、ライフラインが停止している世帯もあり、電気が止まった世帯が29世帯、ガスが101世帯、水道が20世帯、となっている（母数は1409世帯）。ガスや水道は、仙台市の場合、延納や分納を申し込めば止めないこともできる（ライフライン無償化プロジェクトでの申し入れの成果）のだが、止まってしまっている世帯がいることは大きな問題だ。分納などの案内や福祉制度への接続が適切に行われていない可能性がある。ライフラインが止まらずとも、ライフラインの料金を1か月以上滞納している世帯はそれぞれ、電気が411世帯（29%）、ガスが410世帯（29%）、水道329世帯（23%）となっており、ぎりぎりの状態が続いている世帯が多いことも見受けられる（母数は1409世帯）。「食料かエネルギーか」ということを取捨選択しないといけなような貧困が広がっているといえる。

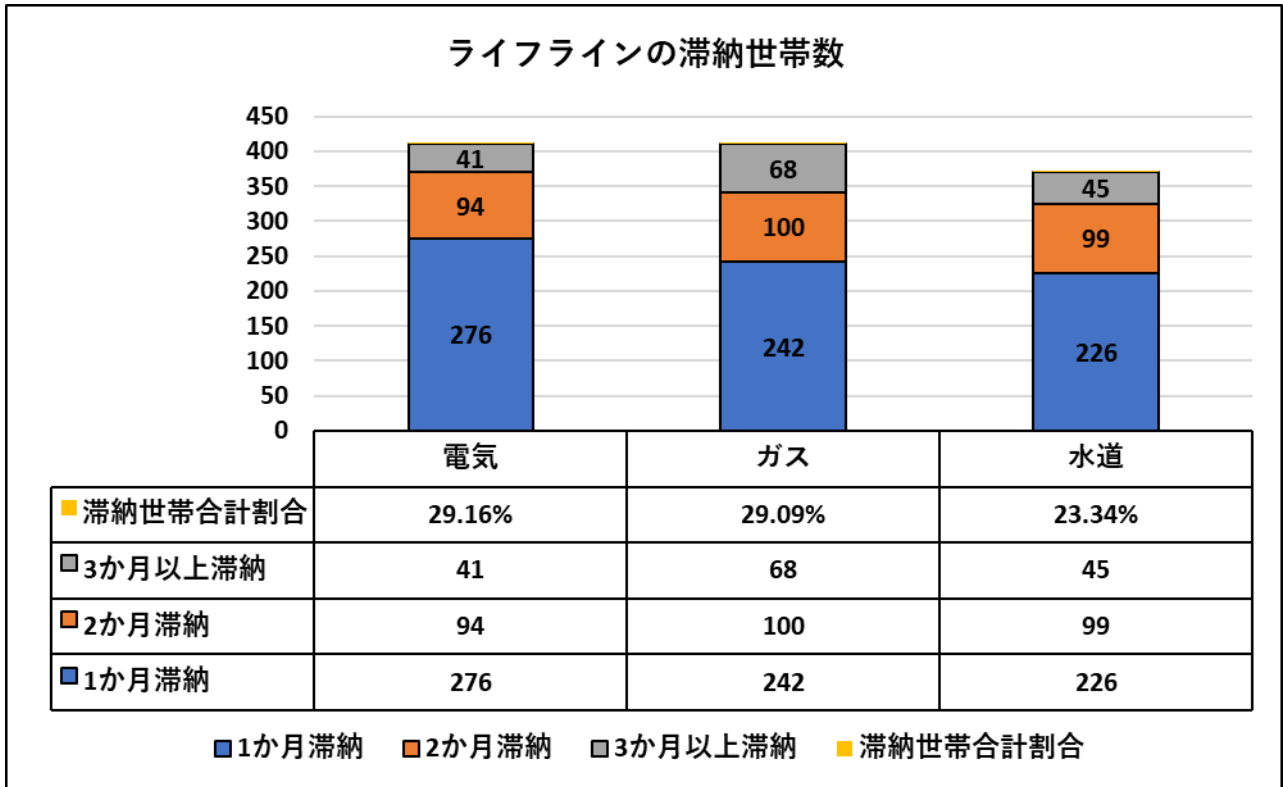
【事例1】40代女性 子ども1人と2人暮らし

派遣で働いている。ライフラインを全て滞納し、止まる→払う→止まるを繰り返している。生活の苦しさを誰にも相談できず、「生きていること自体が辛い」「でも子どもがいるから何とか生きていた」とおっしゃっていた。電気代節約のため、基本的に家で電気はつけない。朝は何も食わず、昼間は水分と飴だけで生活。夜ごはんだけ食べる。子どもには3食食べさせているが、物価高騰、エネルギー価格の高騰の影響もあり、子どもの食事量も減らさざるを得なくなっている。食事のレパートリーは基本的にもやし、納豆、豆腐、米のみ。

【事例2】50代男性 1人暮らし

失業手当の支給月から生活保護が廃止になり、支給まで生活が苦しいためフードバンク仙台を利用した。相談時点で、5日間固形物を食べておらず、めんつゆをお湯で割って飲んでた。ガスが2か月滞納のすえ停止し、ケトルで沸かしたお湯を汲んで風呂に入っている。派遣で働いてきたが、持病の糖尿病が悪化して失業。





母数は 1409 世帯

B 働いていても貧困から脱出できない（ワーキングプア）

フードバンク仙台に相談を寄せる世帯には、就労中の世帯も多い。外国籍の利用者と学生の利用者を除いた世帯のうち、食料支援を申請した時点で就労中だった世帯は 323 世帯で全体の相談者（1409 世帯）の 22%に上っている。外国籍世帯を母数から除いた場合（882 世帯、無回答を含む）、実に 37%の世帯が、仕事をしながらも食料支援が必要な状況に追い込まれている。

雇用形態別に見た場合、パート・アルバイトや派遣労働者が目立つ一方、相対的に安定している正規雇用と言われる世帯が 73 世帯となっている。就労中と答えた 323 世帯を母数にとると、23%に上ることになる。正規雇用で働いていても、まったく安定しないことがわかる。

【事例 3】40代男性、1人暮らし

もともと派遣で働いていたが、コロナ以降に仕事が減った際に携帯電話の料金を支払えなくなり、携帯が止まって、派遣の仕事も連絡が取れないので打ち切られてしまった。蓄えも使い果たし、先週公衆電話から依頼があった時点で、所持金数百円、2週間以上なにも食べていないという状態。

→幸い、食事を摂って元気を取り戻し、本人が自分自身で生活保護を申請し、受理された。

【事例 4】30代女性 1人暮らし

清掃業の正社員で働いている。時給が低く、最低賃金に近いため、月給は総支給で 15 万弱。家賃、光熱費を払うと食費が残らないので、ガソリンをいれるか、米を買うかいつも悩んでいる。

C 外国籍の方（移民）からの支援依頼は増加

今年度の外国籍の方（以後、移民とする）からの相談は 527 件であり、昨年度より増加している。日本語が難しい移民の方たちが多かったことを理由に今年は移民の方向けの申請フォームを簡易化させたため、細かい状況までは把握できていない事例は多いのだが、直接話を聞いた方たちの生活はとても苦しい状況であった。相談者の多くが日本語学校や専門学校の留学生（493 件）であり、アルバイトで生計を立てなければならないのだが、解雇されたりシフトを減らされたりして収入を失い、生活苦になっている方が多かった。また、留学生は週 28 時間まで

しか就労が認められていないため、それ以上アルバイトに入ることを増やせない。そうすると、収入を上げる努力には限界がある。しかし、物価高騰などにより出費は増えている。そのため、アルバイトを最大限に入れることができたとしても、生活困窮に陥ってしまうケースが増加している。

【事例 5】20 代男性、ネパール人、専門学校生

自動車の専門学校に通う。居酒屋でバイトをしていて、時給 1000 円、月 12～13 万を稼いでいる。学校後の夕方から夜（10 時まで～1 時まで）に働く。学費が月 6 万円であり、これに加えて寮費やライフラインの料金などがかり、手元に残るお金はかなり少ない。時々家族に仕送りする必要もある（年に 2, 3 回。5～6 万ずつ）。生活費が足りないため、友人、バイト先の社員から借りることがある。車の会社に就職するため頑張っている。

D 機能しないセーフティネット。生存権が守られない社会

相談者の中には、生活保護を受けている方たちが 170 世帯に上っている。外国籍の利用者を除いた数を母数（882 世帯、無回答を含む）とすると、日本国籍の相談者のうち 19%の人が生活保護の利用者となっている。フードバンク仙台は生活保護の方は原則的には対象にしていなかった。生活保護が、最低生活を守るものであるため、食料支援が本来必要がない世帯であるからである。ゆえに、今年度に支援した生活保護受給者は、支援依頼をもらった時点で緊急で支援をしなければいけないほど困窮しているということで、例外的に支援したものであった。しかし、もはや「例外」扱いができないくらい、緊急支援が必要になる生活保護受給者も増えてきている。生活保護制度が最低生活を守っておらず、「途上国」などで言われる 1 日の食料ですら確保が難しい状態をあらわす「絶対的貧困」がまさに問題になっている。

最低生活を守らない生活保護制度の現状だが、それは給付水準だけではない。生活保護の申請をさせないという違法行為である「水際作戦」は、いまだに横行している。生活保護を利用したいと考え生活保護の窓口に行った人の多くが、生活保護が利用できるにもかかわらず、申請させてもらえていない。その際、行政窓口で言われている理由は「家族を頼るよう言われた」「仕事を探すよう言われた」などであり、これらは生活保護の申請ができない理由にはならない。また、たとえ生活保護を受けることができたとしても、明らかに度を超えた就労指導など、ケースワーカーによるパワーハラスメントによって嫌な思いをし、辞退に追い込まれる人もいる。

最後のセーフティネットが機能していないため、民間のフードバンク団体に支援依頼が殺到するという事態になっている。

【事例 6】70 代女性・一人暮らし

年金が一月に均して六万五千元。家賃もかかり、部屋の設備が故障するなどの状況が重なり、貯金がなくなり、二週間ほどほとんど食事を取らずカレー粉を溶かして飲んでいてフードバンク仙台に食料支援依頼。依頼時点で所持金は数百円もなく、次の年金支給日は一ヶ月近く先。携帯電話も料金未納であと数日で停止するという状況。

→緊急度が高いため、1/19 にスタッフが訪問を行い、2 週間分の食料の支援と安否確認を行った。本人は先に区役所に電話で相談していたが、区役所からは窓口に来るように言われ、フードバンク仙台を紹介されたのみだった。本人は足に不調があり、歩くことも困難な状況であり、役所に自力で移動することはできなかった。その後、当団体のサポートによる役所との交渉で、役所の職員が本人宅に来て生活保護申請の手続きが取れるようになり、無事生活保護の利用につながった。

【事例 7】40 代女性、パートナーと 2 人暮らし

お 4 月に生活保護の窓口に行った際、「引っ越しが必須」「車は廃止しなければならない」「同居人と来ないと申請できない」という誤った説明を受け申請できなかった。6 月末にフードバンク仙台につながるまで、1 日 1 食で過ごしていた。本人は体調不調により働けず、パートナーは派遣の仕事がない。

→申請同行を行った。申請同行の時の所持金は 300 円。

【事例8】30代女性 4人暮らし 夫、中学生、0才の子供

お生活保護受給世帯。限られた保護費の中で、子どものミルク代や学校関係の出費が負担になっている。自分と夫は1日1食しか食べない。娘の中学の制服を、生活保護の限度額の中で買い揃えることができなかった。本人は子育てにより自営業の仕事ができず、夫はコロナの影響により自営業を閉業した。

（3）減少する食料の寄付とそれを補う食料生産活動

昨今の物価高騰の影響による食料寄付量の減少を受けて、個人や企業からの寄付で成り立つ全国のフードバンク団体の活動は、非常に厳しい状況に置かれている。2023年度の後半から徐々に食料の寄付が減り始め、2024年度になった際には昨年度と比べて大きく減少していることがわかった。2024年度の話を取捨選択するはなしになるが、2024年7月に全国のフードバンク団体へ実態調査（272団体に送付、66団体から回答）を行ったところ、この間の食料寄付量が「減少した」が40.9%、「大いに減少した」が22.7%となり、計63.6%の団体が食料寄付が減少していることが判明している。

フードバンク団体は、個人の家庭や事業主などから発生する食品ロスを集め、生活困窮者や困窮者支援団体に食料を提供するのが一般的である。その状況は、家庭や事業の中で何かしらの理由でロスが減ることで、フードバンク団体の方では食料の在庫が減少することも意味している。今回は、物価高騰などの影響で、各所で「余り」が減ってしまっており、そのため寄付される食料の量に大きな影響がでていることも考えられるだろう。このような事態は、家庭や市場で偶発的に発生する食品ロスに頼っている限り、解決できない。

その問題を乗り越えることも目的として、私たちフードバンク仙台は昨年より、自ら畑を耕し、食料の生産にも着手してきた。農地プロジェクトを立ち上げ、2023年から仙台市若林区に5aの農地を借り、自分たちで野菜作りを始めている。2023年度はじゃがいもを1.5トン生産し、600人以上に直接配布することができた。その他にも移民支援や女性支援を行っている連携団体にも配布することができた。

私たちが農地運営を始めたのは、食糧価格の高騰や寄付の状況に左右されない食料生産の拠点を地域につくるためだけではない。配布をする食料の「質」についても考えている。困窮している人ほど、出来合いの安い惣菜や、カップラーメンなど、経済的な理由でカロリーが摂取できるものを食べるしかなく、値段の高い肉や魚、野菜を買うことはできず、栄養がまったく足りていない食事になってしまうことが多い。つまり、お金がない人ほど、十分な栄養の担保された食事はできず、不健康な状況の追いやられるリスクがある。生存権とは、ただ生きていられることではなく、健康的な生活を送ることも含みこまれるべきである。私たちが生産している野菜は、できる限り農薬を使わず、収穫後はなるべく早く配布をしているため、保存時に添加物も使用していない。農地運営を開始した当初は1種類だけの生産であったが、今年からは多品種生産にもチャレンジしている。2024年度は、既に玉ねぎ、じゃがいもの収穫を終え、冬には人参、大根が収穫できる予定となっている。

3. 食料支援数（延べと実数・世帯数と人数）

支援方法		延べ		実数		食料支援重量
1	直接支援 ※1回毎 1人8キロ ※直接、支援依頼を受けて支援した支援数	2,861 世帯	4,515 人	1,409 世帯	2,252 人	36トン 120kg
2	連携支援団体 ※困窮者支援団体へ提供した食料	延べ 92回				5トン 700kg
合計						41トン 820kg

4. 食料品の寄付件数と重量

寄付元	件数(延べ)	重量計
個人	532件	6トン 905kg
団体・企業	441件	40トン 950kg
仙台市主催 フードドライブ	多くの市民の皆さま	9トン 281kg
NPO 法人ワーカーズコープ フードボックス	多くの市民の皆さま	2トン 867kg
合計		60トン 003kg

5. 食料購入費（単位：円）

内容	2022年	2023年	差額
生活困窮者へ支援する食料購入費	1,925,582	462,233	-1,463,349

※SOS が殺到しており、ご寄付いただいた食品では足りない状況です。1度の依頼毎に、1人が1週間分食べられる量(8kg)の食料を家族人数分お届けする為に、足りない分は購入して支援しております。

6. 食料の配送にかかわる費用（単位：円）

内容	2022年	2023年	差額
配達 VTさんの私有車のガソリン実費代（1km×20円）	442,249	401,220	-41,029
配送料（ゆうパック）	535,734	570,642	34,908
食料梱包費用（ガムテープなど）	103,233	62,726	-40,507
合計	1,081,216	1,034,588	-46,628

※原則、各個人宅へお届けしています。配達ボランティアが足りない場合等は運送業者を利用しています。配達ボランティアさんを募集しております！

7. 食料支援利用者から寄せられた「ありがとうメッセージ」

（※計 402 通の内、一部抜粋）

1	娘と2人で泣きながら段ボールを開けさせていただきました。「ママ、こんなにいっぱいご飯が入ってるよ！」という娘の言葉に、丁寧に箱詰めして下さった姿が思い浮かび、感謝の気持ちで泣き崩れてしまいました。ずっと一人で悩み続け、生きるのが苦しくて何度も命を絶つことを考えました。それでも大切な子どもを残していくことはできず、自分はどんなに空腹でもいいから子どもにだけはしっかりご飯を食べさせなければと毎日必死に働いてきました。辛くても頑張っていました。空腹や疲労感、不安や絶望から心が折れそうでした。支払いに追われ食料を買うことも難しくなり、藁にもすがる思いで連絡をしました。本当にありがとうございました。
---	--

2	子どもには辛い思いばかりさせてしまい生活に余裕がなく、もうダメかな…、もう生きるのがしんどくてしんどくて悩んでいた時に依頼し、なんと次の日の夕方には玄関の前に段ボール 3 箱がありました。迅速な対応と優しさに涙が止まりませんでした。世の中捨てたもんじゃないと辛くても生きる希望になります。この優しさを今度は私も困っている方々に繋げていきたいと思いました。
3	今日、帰って来た所大きな荷物が玄関に…。子ども達と開けてビックリしました。中には沢山の食べ物がある…。みんなでクリスマスプレゼントを開けるように感動しました。 進路に悩んでいる息子が世の中にはこんなに優しいことをしてくれる人もいるのだと勉強になったようです。コロナのなか離婚をして心も体も疲れていた中、まだまだ頑張ろうと勇気を頂きました。
4	食料支援だけでなく、その他生活相談まで応じている事を知り、少し心に余裕ができた気がします。ありがとうございます。
5	優しさあふれる食べ物をありがとうございます。生活費が足りず、食べ物が買えなくて困っていましたが、子ども達はお菓子もあるととても喜んでいました。子ども達の笑顔を見ているとありがたくて涙が出ました。本当にありがとうございました。
6	支援して頂いてありがとうございました！本当に助かりました。私も生活のことを考えるとストレスからなのか体調が悪く、今回食べ物が沢山あるだけでも幸せな気分になり少し改善されたようでした。子供達も食べ物が沢山あって喜んでいました！大切にいただきました！
7	収入が減り、光熱費を支払うのがやっとな状況の時に、たくさんの食料を送っていただいて助かりました。子供達が喜ぶお菓子もたくさん入っていて、子供達が喜んでる姿を見れて安心しました。ありがとうございました。
8	私は学生ですが、新型コロナウイルスの影響でアルバイトがあまりできず、仕送りも少なくなって困ってました。暖かい支援に本当に感動しました。将来社会人になったときに恩返しできるよう、日々勉学に励んでいきたいと思えます。ありがとうございました。
9	本当に助かりました。子供達のお菓子まで入っていて喜んでます。離乳食も有難かったです。助けてくれる人が居ること、頼っていいんだと思わせて下さった事、感謝しています。 仕事復帰していつか生活が落ち着いたら、今度は支援する側になりたいと思いました。ありがとうございました。
10	あと何日お米が持つだろう。どうしよう。夜中に目が覚めてお金と食べ物の心配…眠れなくなり不安が襲う。そんな中、本当に助かりました。 いただいたカレーを「うまいうまい」と何度も言いながら食べる息子を見てお願いして良かったとしみじみ思いました。ありがとうございました。今日はよく眠れそうです。
11	一人親になって四年、物価高騰も続き不安で押し潰されそうでしたが食材が届いて涙が出ました。世の中捨てたもんじゃないと痛感しました。まだまだ優しい方達もいるんだと安心しました。子育てはお金もかかりますが楽しさもあるので、これからも頑張ります。今度は自分が誰かを助けたいと思いました。
12	友達にも親にも頼れず、ご飯を食べれない生活が続きながらも周りの人達には明るく振舞い、そんな生活に精神的にも参っていたところ利用させていただきました。 沢山の食べ物が届き中身を確認したとき 1 人じゃないんだ頼っていいんだとやっと認識でき涙が溢れました。21 歳で何度も命を絶とうと思ったことがありますが、もう少し頑張ろうと思えました。本当にありがとうございます。
13	食べ物を届けてもらった時に、遠慮なさらないで下さいと書いてあり、その言葉だけで、なんとか今の状況を乗り越えようと頑張る原動力になりました。ありがとうございました。
14	食品が届いた時は涙が出ました。亡くなった母が仕送りしてくれたのを思い出しました。本当に感謝しています。

8. 生活相談会と食料配布会（フードパントリー）

NO	日付	イベント内容	主催
1	4月 14・15日	コロナ特例貸付ワンストップ相談会	仙台弁護士会、一般社団法人パーソナルサポートセンター、社会福祉法人仙台市社会福祉協議会、フードバンク仙台
2	4月30日	いのちと暮らしを守るなんでも相談会	反貧困みやぎネットワーク、フードバンク仙台、仙台 POSSE、仙台けやきユニオン、みやぎ青葉の会、NPO 法人ハーティ仙台、NPO 法人キミトナリ、宮城県医連、宮城県労連、NPO 法人ワンファミリー仙台、PSC
3	7月21日	いのちと暮らしを守るなんでも相談会	反貧困みやぎネットワーク、フードバンク仙台、仙台 POSSE、仙台けやきユニオン、みやぎ青葉の会、NPO 法人ハーティ仙台、NPO 法人キミトナリ、宮城県医連、宮城県労連、NPO 法人ワンファミリー仙台、PSC
4	9月30日	いのちと暮らしを守るなんでも相談会@仙台	反貧困みやぎネットワーク、フードバンク仙台、仙台 POSSE、仙台けやきユニオン、みやぎ青葉の会、NPO 法人ハーティ仙台、NPO 法人キミトナリ、宮城県医連、宮城県労連、NPO 法人ワンファミリー仙台
5	10月28日	留学生向け食料支援会	仙台 POSSE、協力：フードバンク仙台
6	12月10日	留学生向け食料支援会	仙台 POSSE、協力：フードバンク仙台
7	12月23日	いのちと暮らしを守るなんでも相談会	反貧困みやぎネットワーク、フードバンク仙台、仙台 POSSE、仙台けやきユニオン、みやぎ青葉の会、NPO 法人ハーティ仙台、NPO 法人キミトナリ、宮城県医連、宮城県労連、NPO 法人ワンファミリー仙台、PSC
8	1月14日	留学生向け食料支援会	仙台 POSSE、協力：フードバンク仙台
9	2月11日	留学生向け食料支援会	仙台 POSSE、協力：フードバンク仙台
10	3月3日	留学生向け食料支援会	仙台 POSSE、協力：フードバンク仙台
11	2024年 1/31～2/5	石川県 能登半島地震 被災者への食料支援	総合サポートユニオン物流支部 協力：フードバンク仙台
12	2024年 7月18日・19日	秋田県 豪雨河川氾濫浸水災害 五城目町 被災者への食料支援	フードバンク仙台 連携：フードバンクあきた

9. 講演会・イベント

NO	日付	内容	主催
1	4月7日	活動報告会 フードバンク仙台の現場から貧困社会を変える 学生VTによる報告会	フードバンク仙台
2	4月19日	活動報告会 エネルギー「貧困」に立ち向かう～エネルギー価格高騰と気候変動はどう繋がっているか～	フードバンク仙台
3	5月20日	藤原辰史さん講演会「給食の歴史からみる食・地域運動の可能性」	フードバンク仙台
4	8月4日	活動報告会 3,000件の食料支援から見える貧困の現実と立ち向かう若者の取り組み	フードバンク仙台
5	8月20日	活動報告会 食料支援の現場から貧困に立ち向かう物価高騰と出口の見えない貧困	フードバンク仙台
6	9月10日	フードバンク仙台&フードバンクみやぎ 合同イベント 「地域から資本主義を問い直す～フードバンクの挑戦～」	フードバンク仙台 フードバンクみやぎ
7	10月14日	工藤律子さん講演会「オルタナティブを創造する世界の地域実践から学ぶ～もうひとつの社会は可能だ！～」	フードバンク仙台
8	11月2日	大島堅一さん講演会「電力会社の最高益の裏側で広がるエネルギー貧困～不公正な電気代値上げの真相に迫る～」	ライフライン無償化プロジェクト、Fridays For Future Sendai、学問と社会をつなぐサロン、フードバンク仙台
9	12月16日	フードバンク仙台 暮らしに役立つ学習会 テーマ「生活保護ってどんな制度？私も使える？」 講師：司法書士・東北生活保護利用支援ネットワーク 早坂智香子さん	フードバンク仙台
10	1月6日	竹信三恵子さん講演会 「男女の賃金格差・女性の貧困はなぜ起きるのか～コロナ禍の女性の苦境から考える」	仙台 POSSE フードバンク仙台
11	1月13日	フードバンク仙台 暮らしに役立つ学習会 テーマ「自分や同僚を守るための労働法」 講師：総合サポートユニオン代表 青木耕太郎さん	フードバンク仙台
12	1月14日	映画「百姓の百の声」上映会 柴田監督×宮城の農業生産者トークライブ	主催：食ベママみやぎ、 共催：あいコープみやぎ 協力：フードバンク仙台
13	2月10日	フードバンク仙台 暮らしに役立つ学習会 テーマ「債務整理の方法を教えます！」 講師：弁護士・みやぎ青葉の会 畠山裕太さん	フードバンク仙台

10. ボランティア募集イベント

NO	日付	内容	主催
1	4月8.11.13.24日	ボランティア希望者向け活動説明会	フードバンク仙台
2	8月7日	ボランティア希望者向け活動説明会	フードバンク仙台
3	10月5.17日	ボランティア希望者向け活動説明会	フードバンク仙台
4	11月25.28日	ボランティア希望者向け活動説明会	フードバンク仙台
5	2月1・6日	ボランティア希望者向け活動説明会	フードバンク仙台

11. 申入れ・提言活動

NO	日付	申し入れ内容	主催
1	8月3日	ライフライン無償化プロジェクト記者会見	ライフライン無償化プロジェクト フードバンク仙台
2	9月14日	東北電力への電気料金値上げに関する公開質問状の提出 と記者会見	ライフライン無償化プロジェクト Fidays For Future Sendai フードバンク仙台
3	12月15日	東北電力への電気代値下げ等を求める署名を提出（2084 筆）と記者会見	ライフライン無償化プロジェクト Fridays For Future Sendai フードバンク仙台

12. 依頼講演

NO	日付	講演	主催
1	2月2日	仙台育英高校での講演	仙台育英高校
2	1月26日	NPO・ボランティア団体など社会課題に取り組む団体におけるハラス メント対応・窓口担当者研修で講演	NPO 法人 mia forza

13. 内部研修会

NO	日付	内容	主催
1	6月2日	対人援助・ハラスメント勉強会	フードバンク仙台
2	12月16日	テーマ「生活保護」 講師：司法書士・東北生活保護利用支援ネットワーク 早坂智香子さん	フードバンク仙台
3	1月13日	テーマ「労働法」 講師：総合サポートユニオン代表 青木耕太郎さん	フードバンク仙台
4	2月10日	テーマ「債務整理」 講師：弁護士・みやぎ青葉の会 畠山裕太さん	フードバンク仙台

14. メディア掲載

NO	日付	タイトル	メディア
1	5月16日	「学生らが「農業」で困窮者の支援 貧困を救う国の制度が「皆無」という絶望」	yahoo ニュース
2	5月16日	「東北電力「家庭向け電気料金」平均25.47%値上げ申請 値上げは 早ければ6月から」	ミヤギテレビ
3	6月8日	「フードバンク仙台が野菜づくり 寄付減少も「できることをやる」」	朝日新聞
4	6月28日	「フードバンク仙台が野菜作り 寄付減少で自ら食料を確保」	KHB 東日本放送
5	8月3日	「“電気代高騰でエアコン使えず” 生活支援団体に相談相次ぐ」	NHK
6	8月3日	「学生がNPOで「ジャガイモ1t」を生産 農業で困窮者を支援する若者たちの 挑戦」	yahoo ニュース
7	8月12日	「食料配布の利用世帯、半数が物価高騰で困窮 仙台の団体が調査」	河北新報
8	8月15日	「困窮者支援ヘジャガイモ収穫 フードバンク仙台」	河北新報
9	8月28日	「物価高騰で生活困窮者が増加 仙台市の市民団体が支援を呼び掛け」	KHB 東日本放送
10	8月31日	「フードバンクが自分たちで野菜生産」（知っとく東北）	NHK
11	12月19日	「みどりをつなぐヒト#63 余った食料を必要な人に届ける フードバンク仙台 川 久保亮弘」	テレビ東京
12	12月17日	「仙台の若者団体、電気代値下げ求め東北電に署名提出」	河北新報

15. 活動費を寄付くださった個人の皆さま

内容	寄付者数（延べ）
口座振込、クレジットカード寄付（conggrant）、持込での寄付金	942名

※中には、何度も寄付して下さっている方もおります。誠にありがとうございます。

16. 活動費を寄付くださった企業・団体さま

※（寄付いただいた順。掲載許可を得ている企業・団体さまのみ。敬称略）

NO	企業・団体名
1	tbc 東北放送(株)
2	(株)オール
3	伊達の会
4	こども防災協会
5	東北新生産業(株)
6	立正佼成会 仙台教会
7	仙台ライオンズクラブ
8	税理士法人 MT
9	AB2 1
10	(株)ヒロ・エンタープライズ
11	尚綱学院大学
12	長命ヶ丘地区社会福祉協議会
13	エルアンドピーテニスサークル
14	鶴巻とみさい館
15	司法書士阿部正美事務所
16	福聚山 慈眼寺
17	(株)ジャパンミート
18	(株)モトーレン仙台
19	仙台育英学園高等学校
20	(株)エフエム仙台
21	宮城県宮城広瀬高等学校
22	仙台市精神保健福祉団体連絡協議会（仙精連）
23	(株)高速
24	宮城県民主医療機関連合会（宮城民医連）
25	学生服リユース Shop さくらや仙台店
26	宗教法人 日本バプテスト教会
27	テルウェル東日本
28	永続経営(株)
29	税理士法人 大藤会計事務所
30	仙台友の会
31	木曜会
32	遠藤輪業商会
33	みやぎ霊園

34	第一学院高等学校
35	東北学院中学校
36	仙台市立仙台商業高等学校 商業情報部
37	酒とあて なお吉

17. 助成金（民間）

NO	助成団体・内容	助成金額（円）
1	WAM 子供の未来応援基金「令和5年度未来応援ネットワーク事業」	2,979,000
2	ラッシュジャパン「チャリティバンク」	1,600,000
3	宮城県共同募金 「コロナ禍により生活困窮されている方への無償での食糧支援と生活相談支援活動」	300,000
4	みやぎ生協「2023年度上期みやぎ生協福祉活動助成金」	200,000
5	休眠預金「生活困窮世帯に対する緊急食糧支援及び冷凍食品の取扱拡大事業」	3,978,142
合計		9,057,142

18. 補助金（宮城県・仙台市）

NO	補助金	補助金額（円）
1	仙台市 フードバンク活動支援助成金	1,000,000
2	宮城県 フードバンク活動支援事業補助金	2,729,000
合計		3,729,000

19. 食料品を寄付くださった企業・団体さま

※（掲載許可を得ている企業・団体さまのみ。敬称略）

NO	企業・団体名	NO	企業・団体名
1	(一社) フードバンクあきた	15	(株) グリーンハウス
2	(一社) フードバンクいしのまき	16	(株) クリマテック東北支店
3	(一社) やまがた福わたし フードバンク山形	17	(株) 盛功流通
4	(一社) 宮城県 LP ガス協会	18	かほく「108」クラブ
5	(一社) 宮城県自動車協会	19	キリンビール(株)
6	(株) 朝日新聞社 仙台総務局	20	コープフードバンク
7	(株) HmK	21	学生服リユース shop さくらや仙台店
8	(株) アイチコーポレーション	22	ジェリーズ・k
9	(株) アサヒファシリティズ東北支店	23	ジャパンフリトレー(株)
10	(株) エフ・イー・アネックス	24	ショーワ(株)
11	(株) クラシック	25	せんカフェ
12	(株) 英会話 ジ アルファベット	26	仙台五橋教会
13	(株) シマヤ	27	特定非営利活動法人フードバンク 岩手
14	(株) ジャムコ エアロマニューファクチャリング	28	特定非営利活動法人ポラリス

NO	企業・団体名	NO	企業・団体名
29	(株) にしき食品	68	トラスコ中山(株)
30	(株) マークスホールディングス	69	東日本高速道路(株)
31	(株) マルハン仙台新港店	70	パナソニック(株) エレクトリックワークス社
32	(株) マルハン名取店	71	カーブス 東北大学片平 SA テストベッド
33	(株) 永谷園ホールディングス CSR 推進室	72	(株) フォーチュンインターナショナル
34	(株) 幸子プロモーション	73	ペガルタ仙台
35	(株) 高速	74	みかんチャリティ フォトスタイル
36	(株) 佐藤総業 仙台営業所	75	みやぎ生協
37	(株) 朝日海洋開発	76	みやぎ生協 木町店
38	(株) 日さく	77	みやぎ生協 八幡店
39	(公社) 日本非常食推進機構	78	新栄(株) ミロックス大和町店
40	(有) ミリオン商事	79	みんなのおうち 太白だんだん
41	ANA ホリデイ・イン仙台	80	社会福祉法人あおぞら もぐもぐ
42	J A 仙台青年部	81	有限会社 宮城中央保険
43	JR 仙台建築技術センター	82	旭ヶ丘町内会
44	NTT データカスタマサービス(株) 東北支社	83	伊達の会
45	N T T 一番町	84	(一社) 実践倫理宏正会 仙台支部
46	PPK	85	仙台市 葛岡リサイクルプラザ
47	tbc 東北放送(株)	86	宮城県宮城広瀬高等学校 生活研究部
48	生活協同組合 あいコープみやぎ	87	宮城県宮城野高等学校
49	おそうじ革命宮城仙台太白店	88	宮城県信用保証協会
50	カトリック北仙台教会	89	宮城県庁管財課
51	(株) N T T ・ビジネスアソシエ東日本	90	宮城商事(株)
52	公立大学法人 宮城大学	91	東北労働金庫
53	郡山地域包括支援センター	92	東北学院中学校
54	(公財) アタラクシア みやぎ霊園	93	東北技研(株)
55	仙台市国見児童館	94	南光学園 東北高等学校
56	国見赤十字奉仕団	95	東北少年院
57	財務省 東北財務局	96	東北地方整備局 総務部
58	山谷農場	97	東北農政局
59	福聚山 慈眼寺	98	特定非営利活動法人 POSSE
60	鹿島通信(株)	99	日産部品宮城販売(株)
61	七十七銀行 南小泉支店	100	日本メックス(株)
62	社会福祉法人 つどいの家 コペル	101	日本臓器製薬(株) 東北支店
63	若林障害者福祉センター	102	農林水産省 動物検疫所 仙台空港出張所
64	酒とあて なお吉	103	仙台市立八幡小学校
65	小原英行農園	104	武田初枝法律事務所
66	尚綱学院大学	105	仙台防災未来フォーラム
67	湘南香料(株)	106	未日聖徒イエス・キリスト教会

NO	企業・団体名	NO	企業・団体名
107	上坂建業(株)	118	明治安田生命保険相互会社 仙台広瀬通営業部
108	青葉化成(株)	119	仙台中央郵便局
109	社会福祉法人青葉福祉会 アルテイル宮町	120	損保ジャパン仙台ビル仙台中央支社
110	仙台オープン病院	121	大井電気(株) 仙台研究開発センター
111	仙台リビング新聞社(株)	122	大観楼
112	仙台高等検察庁	123	中江赤十字奉仕団
113	仙台市教育局健康教育課(学校給食)	124	田中米穀店
114	仙台市環境局 家庭ごみ減量課	125	東急リパブル株式会社
115	仙台市保健所	126	東日本電気エンジニアリング(株) 仙台支店
116	仙台市立仙台青陵中等教育学校 5学年	127	東北エネルギーサービス(株)
117	仙台秋保 くまっこ農園	128	(一社) 東北フードバンク連携センター

20. フードボックス設置に協力いただいている企業・団体さま

(1) フードバンク仙台 独自のフードボックス設置にご協力いただいている皆さま

NO	企業・団体名
1	社会福祉法人 つどいの家 コペル
2	学生服リユース Shop さくらや 仙台店
3	慈眼寺
4	国見児童館
5	みんなのBASE
6	荒町児童館
7	連坊コミュニティ防災センター
8	東長町児童館
9	金剛沢児童館
10	大野田児童館
11	共生型施設みんなのおうち太白だんだん
12	東宮城野マイスクール児童館
13	鶴ヶ谷東マイスクール児童館
14	放課後等デイサービス 八乙女杜っ子
15	放課後等デイサービス 黒松杜っ子
16	放課後等デイサービス 長命ヶ丘杜っ子
17	放課後等デイサービス 高森杜っ子
18	のびすく長町南
19	有限会社ミリオン商事
20	買取クラシック仙台店
21	社会福祉法人あおぞら 障害福祉サービス事業所 もぐもぐ(喫茶もぐもぐ)

(2) 仙台市環境局と協働事業のフードボックス設置に協力いただいている皆さま

NO	企業・団体名
1	イオン 仙台店
2	イオン 仙台幸町店
3	イオンスタイル仙台卸町
4	イオン 仙台富沢店
5	イオン 仙台中山店
6	ヤマザワ 住吉台店
7	ヤマザワ 中田店
8	藤崎本館
9	イトーヨーカドー アリオ仙台泉店
10	市役所本庁舎
11	仙台市福祉プラザ
12	葛岡リサイクルプラザ
13	今泉リサイクルプラザ
14	東急リパブル 泉中央センター
15	東急リパブル 東北支店仙台センター
16	東急リパブル 仙台東口センター
17	東急リパブル 仙台駅前センター
18	東急リパブル 長町南センター

21. フードボックスに集まった食品の運搬にご協力いただいている企業・団体さま

NO	企業・団体名
1	有限会社 宮城中央保険
2	日本たばこ産業株式会社東北支社
3	株式会社パソナ 仙台支店
4	社会福祉法人あおぞら
5	社会福祉法人つどいの家
6	東急リパブル株式会社 東北支店
7	社会福祉法人青葉福祉会
8	明治安田生命保険相互会社仙台支社

22. 食品保管倉庫を無償提供くださっている企業さま

NO	企業名	容量
1	(株) 盛功流通 本社	15トン程の食品を保管できるドライ倉庫

23. 食品用コンテナ・梱包用ビニール袋を無償で提供下さっている企業さま

NO	企業名	提供物品
1	(株) 高速	活動に必要な折畳みコンテナ&ビニール袋類 全般

24. ご協力をお願い

- ① 困窮者支援活動の継続の為に、事務所家賃、配送費、通信費などの運営資金が必要です
皆さまの温かいご寄付、ご協力をどうか宜しくお願いいたします。
※フードバンク仙台は、ご寄付いただいた食料品を無償でお届けしている為に収益が1円もありません。
- ② ボランティアで共に活動して下さる仲間を随時募集しています。
配達、内部、食料の箱詰め、仕訳、データ入力、食品運搬、農地など様々な作業があります
※この活動は、多くの皆さまのご協力とボランティアの皆さまによって成り立っています。

●寄付金の振込先

振込み先：ゆうちょ銀行

口座名義：トクビ) フードバンクセンダイ

口座番号：ゆうちょ銀行からの振込／記号 18170 番号 46010321

その他の銀行からの振込／店番 818 口座番号 (普通) 4601032

▼クレジットカードでの寄付は
こちらから



貧困と飢餓をなくす

特定非営利活動法人 フードバンク仙台 事務局

開所日 (月)・(木)・(金) 10:00~16:00 ※祝日休

〒980-0022 仙台市青葉区五橋 2-6-16 第2 ショーケールビル 101 号室 (みんなのBASE 内)

電話 支援依頼 070-8366-3362 / その他 080-7331-6380 (開所日のみ)

メール foodbanksendai@gmail.com

HP <https://foodbanksendai.com/>

facebook <https://www.facebook.com/foodbanksendai/>

Twitter @foodbanksendai

Instagram foodbank_sendai

まだまだ食料支援を必要としている人が沢山います！ご協力をお願いします！